

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>◆教育目標「つながり・チャレンジする子どもたち・学校」を学校経営の中で具現化・具体化し、発信する学校を目指す。</p> <p>◆共生社会の形成に貢献する「特色ある特別支援教育」を推進し、これからの特別支援教育において積極的な役割を果たす学校を目指す。</p> <p>◆全ての児童生徒が、社会の中でより良い生活を実現する力を獲得するために、「わかる」「できる」力を伸ばす教育を実践する学校を目指す。</p>	<p><学校経営></p> <p>コロナ禍の中、計画の変更を余儀なくされる状況が続いたが、適宜判断、提案、相談し運営することができた。少人数での短時間研修会を各部署主催で実施できた。</p> <p>医療的ケアを中心とする危機対応訓練やヒヤリハット事象への迅速な対応ができた。児童生徒の丁寧な実態把握とその共有、危機的対応や教訓化に課題が残った。</p> <p>学校運営協議会の意見を反映した教育アンケートを実施できた（感染症対応のため年2回実施（うち1回紙面）。ホームページでの発信は全学部が月6回以上発信できず次年度改善すべき課題となった。</p> <p><教育活動></p> <p>プロジェクトが主体となり作成をすすめている。授業研究を軸に継続した研究推進が必要である。</p> <p>一人一実践報告やアンケートをもとに実践事例集を作成できた。外部講師による全校研修会により、理論及び実技の両輪で計画的に学ぶことができた。</p> <p>担当者を中心に感染症対応を踏まえた上で、ねらいに応じた取組方法を工夫し実施することができた。</p> <p>高3生の希望進路の実現に向けた指導をすすめることができた。保護者への積極的な発信、全校的な研修や情報発信による計画的な進路指導を進める必要がある。</p>	<p>3つの安心を目指す学校作りを行う。</p> <p>*児童・生徒が安心して学ぶことができる学校</p> <p>*保護者・地域が安心して託すことができる学校</p> <p>*教職員が安心して働くことができる学校</p> <p>○学校経営</p> <p>1 安心・安全の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な危機管理と安心・安全に対する意識の向上 ・法令に基づいた医療的ケアの実施と徹底した感染症拡大の防止 <p>2 コンプライアンス意識の向上と徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚とあらゆる教育活動をととした人権教育の推進 ・学校への信頼を高めるためのチーム力の向上 <p>3 働きやすい環境作りの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府「働き方実行計画」に基づいた業務改善の推進 ・自分を大切にす気持ちと他者の気持ちを大切にす職場環境の形成 <p>○教育活動</p> <p>1 新学習指導要領の趣旨を踏まえた日常的な授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の多様性と可能性を意識した授業の推進 ・GIGA スクールを活用した授業の推進 <p>2 専門性の向上及び外部評価者を活用した授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自校の課題に焦点をあてた研修会の実施 ・児童・生徒の変化に気がつく、チーム力の向上 <p>3 保護者・地域社会との連携の推進及びタイムリーな学校情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域の思いに寄り添う「地域とともにある学校」作り ・つながりを意識した地域社会との連携の推進

評価領域	重点目標	具体的方策	評価		
組織・運営	教育目標の具現化・具体化及び組織的な学校経営の推進	各学部、各校務による学校経営方針を具現化するマネジメントの実施			
		一人一人の教職員の役割分担の明確化と、チームとして実践できる働き方改革を意識した職場環境の形成			
	安心・安全を重視した取組の推進	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための生活行動様式の改善および徹底			
		具体的な場面を想定した危機管理訓練の実施			
		校内ヒヤリハット事象の迅速な報告、共有と教訓化（医療的ケアに限らない） いじめ・不登校対応を意識し、児童生徒一人一人の人権を大切にす取組の推進			
	地域社会に開かれた学校経営の推進	学校運営協議会の円滑な運営及び学校運営等への評価の活用			
ホームページ等の活用による計画的かつタイムリーな教育内容の発信（各学部6回以上/月）					
「地域支援センターやわた」の機能を生かした地域における特別支援教育の推進	各校のコーディネーターとの連携を意識したニーズに応じた機能的なアセスメント及び相談・研修支援の実施（オンラインの活用）				
	校内巡回相談員の積極的活用による組織的な支援の実施				
教育課程・学習指導	プロジェクト会議による全校研究の牽引	学習指導要領を踏まえた授業研究を軸に継続した研究推進			
	GIGAスクール構想に基づいたICT機器の利活用による個別最適な学びの保証と協働的な学びの充実	実践事例集を活用した創造的な授業の推進			
	新たな交流及び共同学習の創造	交流教育部と各学部の連携による組織的・計画的な取組の実施			
	希望進路の実現に向けた進路指導の充実	生活年齢を意識した各学部における進路学習の実施と目標、指導内容の明確化 研修会の実施、情報発信等による保護者や全校教職員への理解促進の機会を各学部において設定			